

(様式2)

## 令和5年度 施策評価シート

### 1 施策の位置づけ

基本戦略	3. 安心して暮らし続けられる村をつくります
重点目標	7. 安心して暮らせる基盤整備
主要施策	7-2. 誰もが利用しやすい公共交通の充実を図ります

### 2 施策の評価

指標 (KPI)	単位	基準値	達成値					目標値	担当課
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
広丘線バス1便あたりの乗車人数	人	9.3	8.7	6.7	6.9	6.1		9.3	企画財政課
デマンドタクシーくるりん号1台あたりの乗車人数	人	11.5	10.1	9.9	11.4	9.5		11.8	

### 3 主な取組

1 公共交通網の充実							総合評価
利用者のニーズを踏まえた公共交通網を整備するとともに、公共交通の利用促進を行う							A
事務事業名	担当課	記号	成果	コスト	評価	重点化	
134 公共交通運行経費補助金	企画財政課	5	維持	維持	A		
261 朝日村営買い物バス運行业務委託料	企画財政課	7	休止・廃止	皆減	C		

#### 4-1 施策の評価・検証 (企画財政課)

評価視点	評価コメント
事業構成の適正	3市村(松本市・山形村)との連携により、広丘線の複便化や新規路線(朝日・波田線)の設置、くるりん号のセミデマンド方式など取り組んだが、利用状況・ダイヤ等に課題がある。買い物バスの方向性も検討が必要。
事業の重点化	広丘線、朝日波田線、セミデマンド方式での運行について、利用状況に基づき改善を図る。買い物バスはくるりん号のセミデマンド方式による運行へのシフト等により利用者の利便性を確保しつつ、廃止の方向で検討する。